

## 尖閣列島周辺のイカ類について

当 真 武  
金 城 武 光

1971年3月29日から4月10日にかけて琉球大学は尖閣列島の学術共同調査を実施した。水産試験場から兼浜安信・金城武光両氏が参加し海洋観測と漁場調査を担当した。その際持ち帰ったイカ類の資料と標本を調べる機会を得た。その概要を報告する。

調査船、函南丸（159.5t）赤嶺船長以下19人

### 方 法

夜間手釣りで採捕した。その一部は船上で測定し、残りは10%ホルマリン溶液で固定し、陸上の実験室に帰って測定した。その他のことについては別に本事業報告に「海洋観測及び漁場調査」として報告する予定であるので省略する。標本の同定はSASAKI（1926）、滝巖ほか（1965）、AKIMUSHIKIN（1965）によった。

### 結果および考察

今回の調査でトビイカ *Symplecteuthis Oualaniensis* (LESSON) とスジイカ *S. luminosa* SASAKI が魚釣島南、約8マイル沖合で捕獲された。スジイカはこれまで久米島沖や喜屋武沖でもトビイカと共に捕獲されている。これによりトビイカとスジイカは黒潮の内部や大陸側の縁から沖縄島近海まで広い範囲に生息していることが確認された。また東支那海に生息するスルメイカ *Todarodes pacificus* STEENSTRUP とそれより南方よりに生息するトビイカは黒潮の大陸よりの縁をさかいにすみわけているようである。その主な要因の1つには水温があげられる。

測 定 結 果

採集年月日 1971年3月30日  
 採集場所 N 25°40  
 E 123°34 St.2 水温 23.6°C 水深 800m

※  
 トビイカ Symplex Oualanienis LESSON

表 1

№	外套長 mm	体 重 g	性	№	外套長 mm	体 重	性
1	120	88	♂	6	281	—	♀
2	136	96	♂	7	146	—	♂
3	116	54	♀	8	169	—	♂
4	118	—	♂	9	239	—	♀
5	176	—	♀				

※  
 スジイカ Symplecteuthis Luminosa SASAKI

№	外套長 mm	体重(g)	性	備 考
1	165	121	♂	左、第4腕の約 $\frac{1}{3}$ に吸盤がない。
2	149	84	♀	繸卵腺長 3.74cm 熟卵保有
3	107	30	♀	
4	102	26	♂	

アオリイカの一種 Sepioteuthis Sp.

№	外套長 mm	体重(g)	性	備 考
1	826	875	♀	いわゆるアカイカとよばれるものでアオリイカに比べ体色は赤褐色である。

採集年月日 1971年4月1日  
 採集場所 N 25° 38  
 E 123° 31 st. 3 水温 24.6°C

トビイカ *Symplex Oualaniensis* LESSON

表2

No	外套長 mm	体 重	性	No	外套長 mm	体 重	性
1	201	-	♂	6	168	-	♂
2	136	-	♀	7	155	-	♂
3	224	-	♂	8	144	-	♂
4	126	-	♀	9	161	-	♀
5	187	-	♂				

採集年月日 1971年4月3日

採集場所 N 25° 41  
 E 123° 31 st. 1

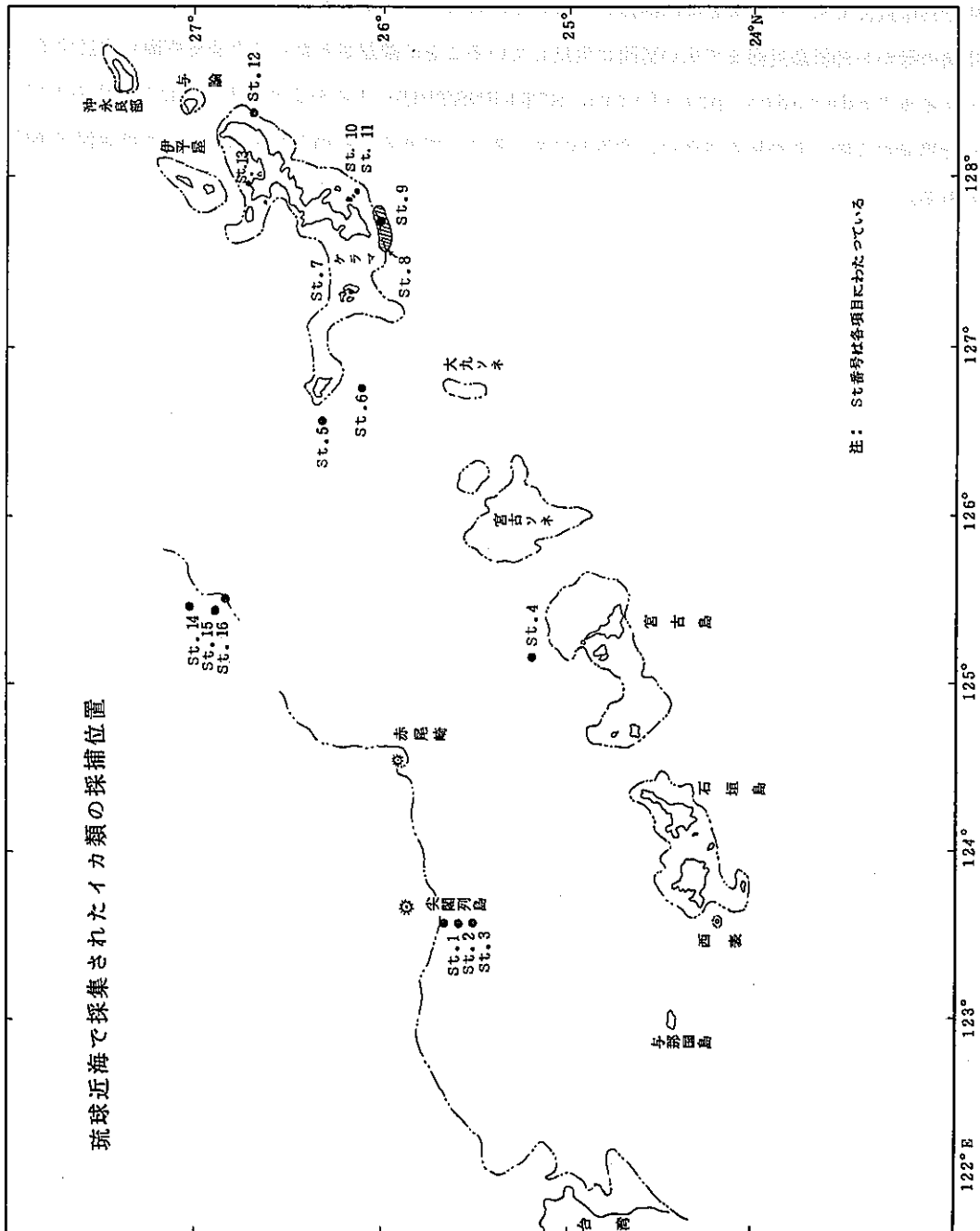
トビイカ *Symplex Oualaniensis* LESSON

表3

No	外套長 mm	性	No	外套長 mm	性	No	外套長 mm	性
1	156	♀	7	159	♀	13	167	♀
2	169	♀	8	141	♂	14	142	♂
3	157	♀	9	138	♀	15	151	♀
4	185	♀	10	165	♀	16	161	♀
5	113	♂	11	200	♀	17	152	♂
6	107	♂	12	238	♀			

※ 200 m以浅になるとスジイカ、トビイカとも釣れない傾向がある。

琉球近海で採集されたイカ類の採捕位置



注: St番号は各項目にわたっている

今回の調査でトビイカ *Symplecteuthis oualaniensis* (LESSON) とスジイカ *S. luminosa* SASAKI が魚釣島南、約8マイル沖合で捕獲された。スジイカはこれまで久米島沖や喜屋武沖でもトビイカと共に捕獲されている。これによりトビイカとスジイカは黒潮の内部や大陸側の縁から沖縄島近海まで広い範囲に生息していることが確認された。また東支那海に生息するスルメイカ *Todarodes pacificus* STEENSTRUP とそれより南方よりに生息するトビイカは黒潮の大陸よりの縁をさかいにすみわけているようである。その主な要因については水温があげられる。